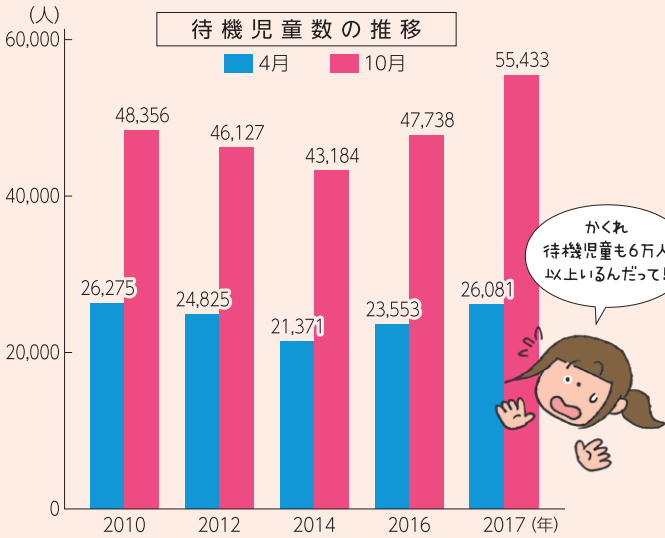


希望する保育園に入れない！

待機児童問題が深刻化してから20年、国は、基準の切り下げによる保育室へのつめこみや、無資格者の活用など、保育の質を軽視した待機児童対策をすすめてきました。



厚生労働省保育課「保育所等待機児童数調査」より作成

かくれ待機児童も6万人以上いるんだって！

子どもの安全をおびやかす規制緩和ばかりがすすむ！

待機児童対策を口実に、子どもの権利や安全を脅かす規制緩和ばかりがすすんでいます。

- 1998 定員超過入所の上限緩和
- 2003 防火・避難基準を緩和
- 2010 3歳以上児の給食外部搬入認める
- 2014 保育室の避難用外階段設置の緩和
- 2015 新制度で保育所基準以下の地域型保育事業など創設
- 2017 保育室の採光基準緩和



保育・学童保育の基準は切り下げず改善を！
待機児童対策は質の確保された安心・安全な施設で！

「無償化」は限定的

政府は、幼児教育・保育の無償化を方針化しました。保護者負担軽減を訴え続けてきた保育運動の成果といえます。しかし、無償化といっても0～2歳児は住民税非課税世帯に限られるなど、すべての負担がゼロになるわけではありません。また、条件改善や待機児童対策などが遅れることが心配されています。

すべての子どもに等しく質の高い保育を保障できるような無償化を求めよう！



ほいくしを、もっと。ほいくしよを、もっと。



このプロジェクトは、子どものいまと未来を支える大切な保育を、もっとよくしていくための署名運動を中心にした取り組みです。

よりよい保育を！ 実行委員会

連絡先：全国保育団体連絡会
 〒162-0837 東京都新宿区納戸町26-3 TEL03-6265-3171

